

## ●2020年度精密工学会春季大会シンポジウムのご案内

### 工作機械の空間誤差の補正に関する最新技術

2020年 3月 19日(木)

主催:公益社団法人精密工学会総合生産システム専門委員会(委員長:広島大学 江口 透)

2006年頃,日本の工作機械メーカーの多くにとって主力機種に成長しつつあった5軸工作機械について,従来機より「精度が悪い」という定評を覆す技術確立するため,(一社)日本工作機械工業会を中心として,運動精度の測定法に関して議論を始めた.その成果は,ISO 10791-1, -6, -7規格として2014年に,対応するJIS規格は2018年に発行された.総合生産システム専門委員会では,これらの測定法を普及させ,最新技術・研究の情報交換を行うことを目的として,2018年に小委員会を設立し,2019年11月現在,企業会員19社,研究者会員11名で,活発に活動している.本シンポジウムでは,最新の工作機械で実用化されている空間誤差の補正技術を中心として,工作機械の誤差補正技術の最前線を紹介する.

開催日時 2020年 3月 19日(木) 13:00 ~ 16:50

会場 東京農工大学 小金井キャンパス 講義棟 3階 L0031室 (春季大会会場内 G室)

#### プログラム

司会 東京農工大学 名誉教授 堤 正臣 氏

| 時間          | 講演題目   | 講師               |
|-------------|--|------------------|
| 13:00~13:15 | シンポジウム開催趣旨と「5軸工作機械の空間精度補正技術調査研究小委員会」<br>東京農工大学 名誉教授 堤 正臣 氏   |                  |
| 13:15~13:55 | ISO 10791-10規格に日本から提案している新しい熱変形工作試験法と,<br>モデルベースの誤差原因診断法     | 広島大学 茨木 創一 氏     |
| 13:55~14:35 | シーメンスCNC補正技術のご紹介 SINUMERIK 840D sl<br>シーメンス(株)デジタルインダストリーズ   | 水野 智之 氏          |
| 14:35~14:50 | (休憩)   |                  |
| 14:50~15:30 | 三菱数値制御装置における最新の誤差補正技術と高速高精度化技術<br>三菱電機株式会社 先端技術総合研究所         | 津田 剛志 氏          |
| 15:30~16:10 | 工作機械の空間精度の維持技術   | オークマ株式会社 松下 哲也 氏 |
| 16:10~16:50 | 5軸マシニングセンタのキャリブレーションをたった一台で実現<br>—エタロン社レーザバーで工作機械を高精度に維持・管理— | YKT株式会社 ルシュ 麻緒 氏 |

※※プログラムは変更となる場合がございます.何卒ご了承のほどお願い申し上げます.